



令和4年 2月
奥田北小学校図書室
NO. 10

節分が終わると、暦の上では季節が春に移り変わります。これからは、だんだんと春を感じることが多くなるのではないのでしょうか。けれど、もう少し寒い日は続きそうです。楽しい本を読んで、寒さを吹き飛ばしましょう。

また、卒業・進級に向けて慌ただしくなってきます。6年生の皆さんは、読み忘れた本がないよう、たくさん読んでくださいね。



あたらしい本のしょうかい



「学校給食週間のメニューに出てくる本コーナー」より

1月の給食週間の時に、メニューの基になったお話です。どんな味だったか、思い出しながら読んでみてくださいね。

『旅館すずめや てくてく遠足日和』 雨宮尚子／著（白泉社）

動物たちが集まる旅館「すずめや」は、おいしい料理と真心をこめたおもてなしが自慢の宿です。よく晴れた日は野山を歩いて、おなかがすいたら宿のおいしい晩ご飯を食べましょう。

給食のメニューは、「魚のねぎみそかけ」や「吹き寄せ煮」などでした。

「節分コーナー」より

『オニのふろめぐり』 岡田よしたか／作（小学館）

オニがふろやへ行きました。人間を驚かせて喜んでいましたが、変なふろやへ行ったり、意外な人たちに会ってびっくりしたりと、とんだ「ふろめぐり」になったのです。





『パンどろぼうとなぞのフランスパン』

しばたけいこ ちよ か ど か わ
柴田ケイコ／著 (KADOKAWA)

こころ い か りっぱ しよくにん
心を入れ替え、立派なパン職人になった「パンどろぼう」。
にせパンどろぼうもつかまえて、やれやれとおも
ところに、今度はあやしい、長い影が……。影の正体は
いったい何なのでしょう。

にんき さつめ
人気の『パンどろぼう』シリーズ、3冊目です。

『5分でわかる 安心ネット術』

てづかのぶき かんしゅう いわさき
手塚信貴／監修・岩崎つばさ／マンガ (学研プラス)

いま みちか
今とても身近になったインターネットですが、使い方を間違
えると大変なことになるのは、みなさん知っていますよね？
べんり てがる つか もの
便利で手軽に使える物ですが、その分きちんと理解しておかな
ければいけない事もたくさんあります。

この本はインターネットのことを、マンガやイラストで分か
りやすく書いてあります。ぜひ読んで、ルールなどをもう一度
さいかくにん
再確認してみてくださいね。



立春 (りっしゅん)

こよみ うえ はる りっしゅん
暦の上で春になる日が立春で、2月4日ごろになります。立春は、
いちねん なか どうぶん にじゅうしせつき きせつ きげん
一年の長さを24等分した二十四節気のひとつで、季節のくぎりの起源
となっています。

節分 (せつぶん)

せつぶん むかし こよみ きせつ うつ か ととき いちねん
節分とは、昔の暦の季節が移り変わる時をさしたもので、一年に
4回 (りっしゅん りっか りっしゅう りっとう) あります。しかし、むかし はる はじ
る立春を一年の初めと考えていたので、だんだん立春の前日だけを
とくべつ せつぶん よ
特別に「節分」と呼ぶようになりました。

『きょうはなんの日？』より

